

第2回
カフェトーク in 北九州
～議員とまちを語ろう～

実施報告書

令和元年11月

目 次

I 第2回カフェトーク in 北九州 実施結果概要

1 趣旨	2
2 開催日時	2
3 開催場所	2
4 参加者数	2
5 プログラム	2
6 基調講演資料 別紙1	3
7 意見シートによる意見 別紙2	6
8 参加者アンケート結果 別紙3	10

II カフェトーク in 北九州に関する活動結果について

1 運営会議の開催状況	15
2 広報活動	16
3 開催当日の様子（写真）	17

（参考添付）

- ・開催チラシ
- ・意見シート（様式）
- ・参加者アンケート（様式）

第2回カフェトーク in 北九州 ～議員とまちを語ろう～
実施結果概要

- 1 趣 旨 市民に市議会をもっと身近に感じてもらうことを目的に、本市の課題の一つである「若者の市内での就労と定着について」をテーマにした基調講演、パネルディスカッション、参加者との意見交換を行う。
- 2 開催日時 令和元年 11 月 10 日(日)13:30～15:50(開場 13:00)
- 3 開催場所 小倉駅 JAM 広場
- 4 参加人数 約 500 人
- 5 プログラム
 - (1) 挨拶 13:30～
村上 幸一(北九州市議会議長)
 - (2) 基調講演 13:40～
テーマ「若者の北九州市への定着促進に向けて」
南 博 氏(北九州市立大学地域戦略研究所 教授)
 - (3) パネルディスカッション 14:00～15:50
テーマ「若者の市内での就労と定着について」
 - パネリスト
 - 【北九州市議会議員】
三原 朝利(若松区)
木下 幸子(小倉南区)
三宅まゆみ(若松区)
戸町 武弘(八幡東区)
藤元 聡美(八幡東区)
 - 【地元企業】
権頭喜美恵様(社会福祉法人もやい聖友会 理事長)
山下 省司様(株式会社ドーワテクノス 管理部長)
志賀 亮介様(株式会社不動産中央情報センター)
江藤 朋美様(株式会社井筒屋)
 - コーディネーター
南 博 氏(北九州市立大学地域戦略研究所 教授)
 - 司会者
村上 さとこ議員
- 6 基調講演資料

別紙1

 参照
- 7 意見シートによる意見

別紙2

 参照
- 8 参加者アンケート結果

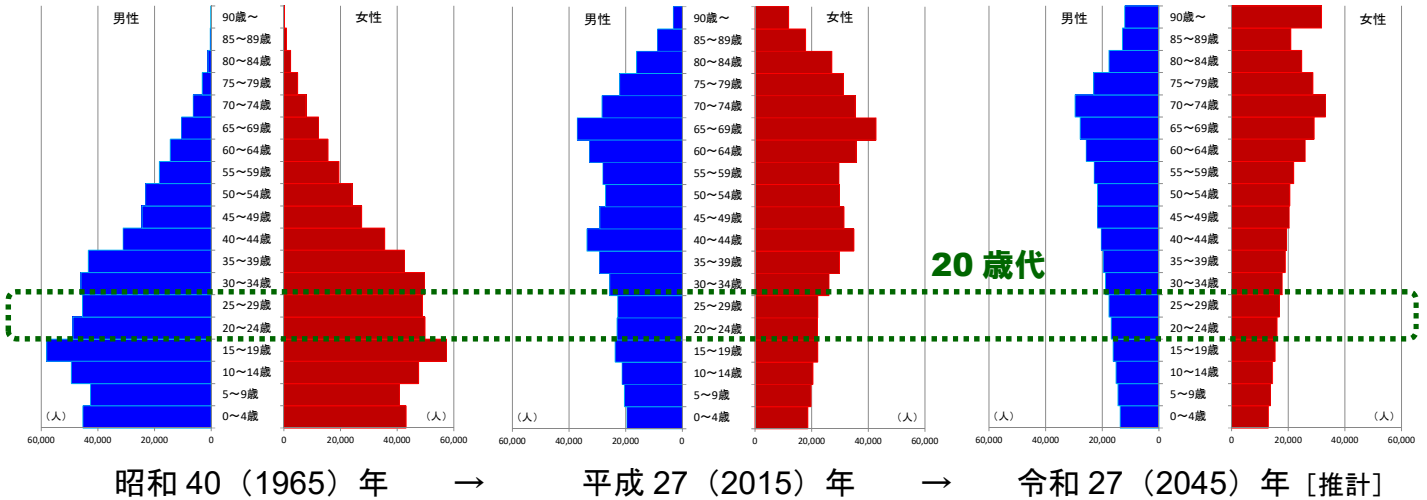
別紙3

 参照

若者の北九州市への定着促進に向けて

北九州市立大学 教授 南 博

1. 北九州市の年齢別人口構成の過去、現在、未来

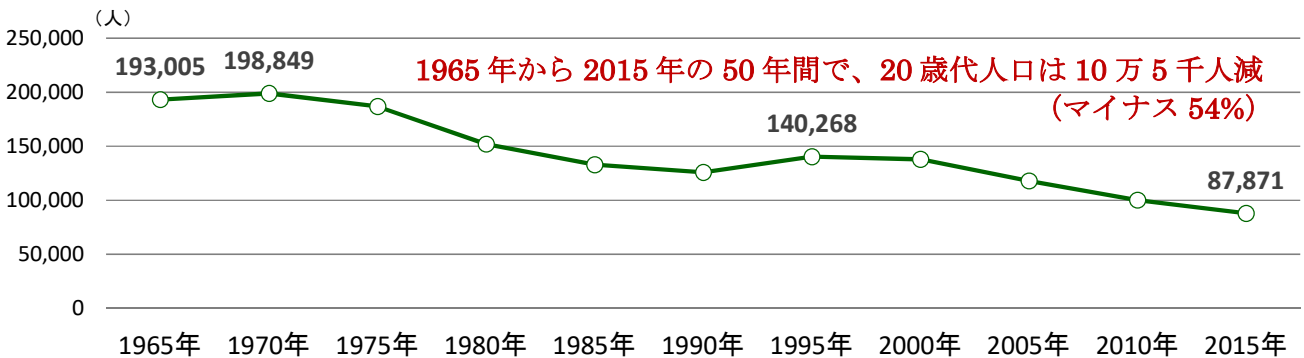


出典) 1965 年、2015 年は国勢調査報告。2045 年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 (平成 30 (2018) 年推計)」

2. 北九州市の20歳代人口の推移

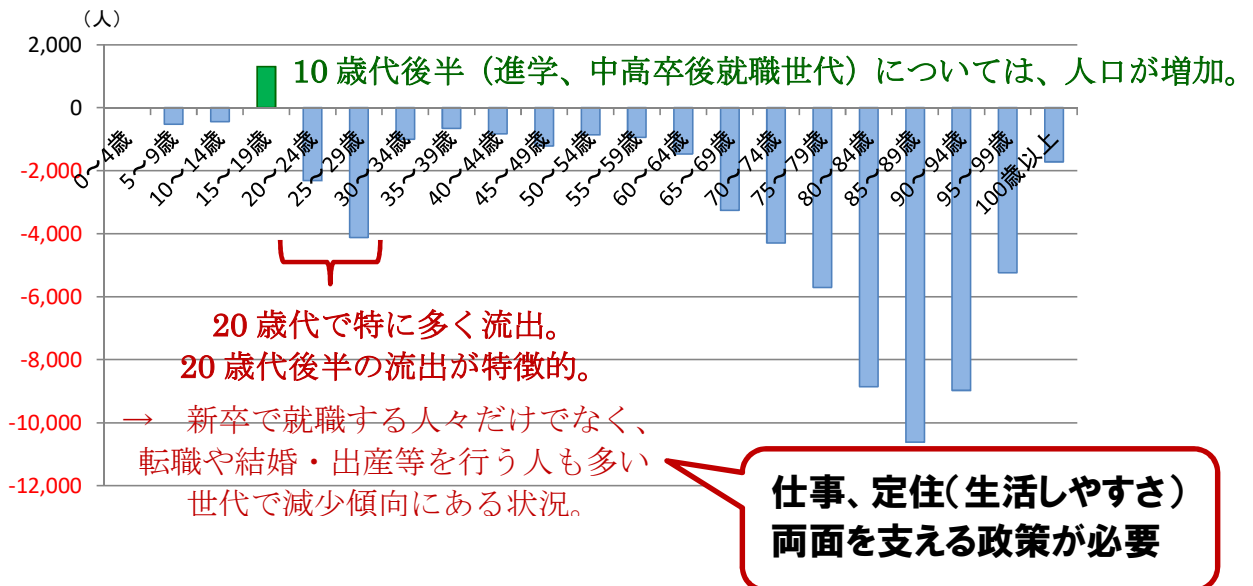
出典) 国勢調査報告

※「若者」の定義は多様ですが、今日の講演では例示的に「20歳代」に焦点をあてて説明します。



3. 北九州市における年齢別の5年間人口増減 (2010年→2015年の比較)

出典) 国勢調査報告



4. 北九州地域の大学等3月卒業者の年別・地域別就職先の推移

出典) 北九州市雇用政策課調査

		2009年3月卒 (人)	就職者に 占める比率	2019年3月卒 (人)	就職者に 占める比率	10年間の変化
大学等	卒業者	5,442		5,360		
	就職者	3,652		4,043		
	福岡県内	1,383	37.9%	1,837	45.4%	県内就職者数・率増
	北九州市内	640	17.5%	891	22.0%	市内就職者数・率増
高専・短大	卒業者	991		839		
	就職者	695		629		
	福岡県内	484	69.6%	435	69.2%	県内就職者数減(率は横ばい)
	北九州市内	310	44.6%	296	47.1%	市内就職者数減(率は向上)
高校	卒業者	10,425		10,066		
	就職者	2,327		2,258		
	福岡県内	1,891	81.3%	1,836	81.3%	県内就職者数減(率は横ばい)
	北九州市内	1,388	59.6%	1,308	57.9%	市内就職者数・率減

※北九州地域：北九州市および中遠、京築の各市町

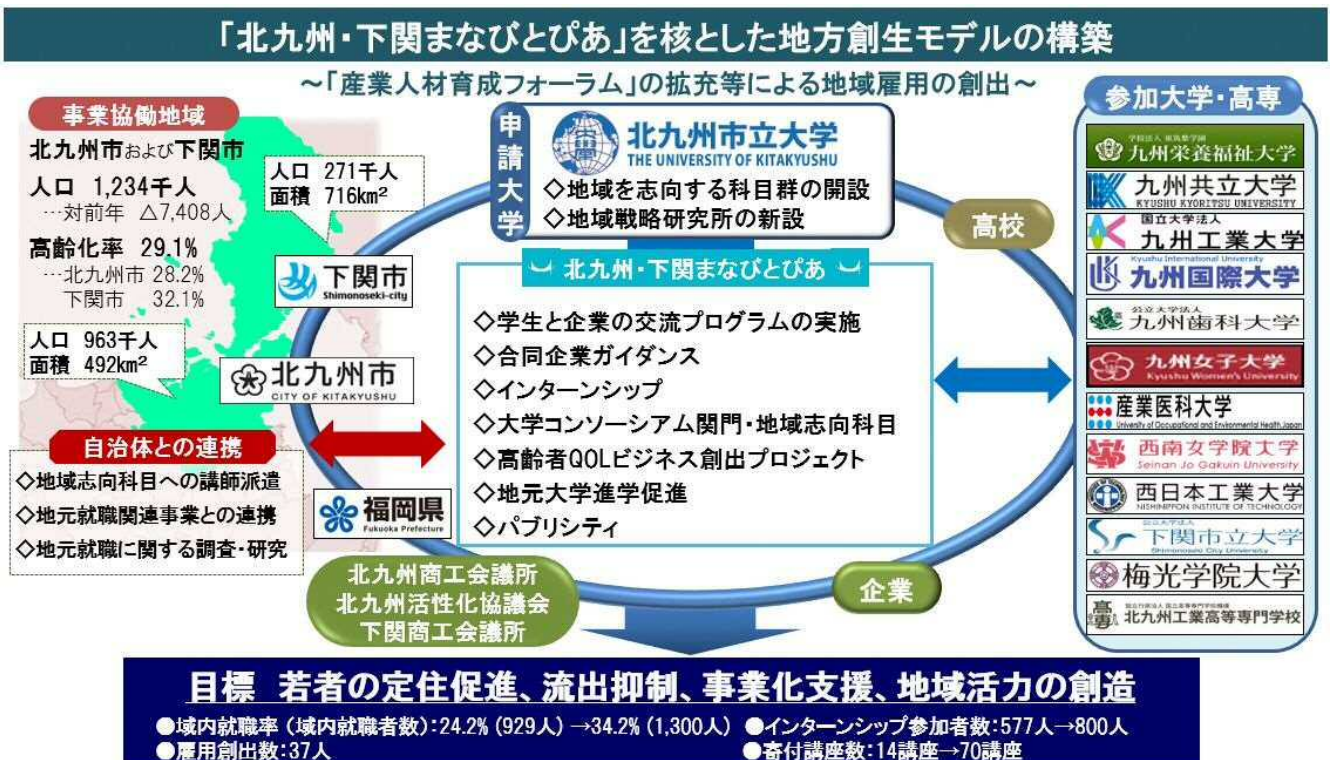
※ 北九州市内の高校卒業者の進学先
(2018年3月末)

出典) 北九州市企画調整局企画課

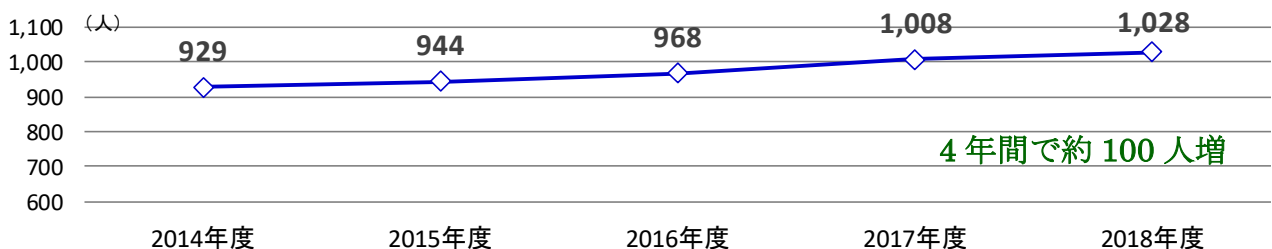
卒業者 (人)	大学進学者 (人)	北九州市内	福岡県内(北九州市以外)	その他
8,204	3,528	1,034	1,208	1,286
	大学進学者に占める比率	29.3%	34.2%	36.5%

5. 関門地域の大学間連携による、若者の定住促進、地域活力創造等の取り組み

出典) 北九州市立大学



※ 連携事業取り組み後(2015年度～)の、北九州・下関地域への就職率及び就職者数の推移



6. 若者が就職に際して重視すること等【全国調査】

出典) ①②:「2020年卒マイナビ大学生就職意識調査」:株式会社マイナビが2018年12月～2019年3月に実施。対象は2020年3月卒業見込みの全国大学3年生、大学院1年生。有効回答48,064件

③④:「2020年卒マイナビ大学生Uターン・地元就職に関する調査」:株式会社マイナビが2019年3月～4月に実施。対象はマイナビ2020会員(2020年3月以降に卒業)。有効回答7,734件

① あなたの「就職観」に最も近いものはどれですか (1つ選択)

1	楽しく働きたい	38.6%
2	個人の生活と仕事を両立させたい	24.4%
3	人のためになる仕事をしたい	12.1%
4	自分の夢のために働きたい	10.2%
5	収入さえあればよい	5.0%
6	社会に貢献したい	4.8%
7	プライドのもてる仕事をしたい	3.9%
8	出世したい	0.9%

② あなたが企業選択をする場合、どのような企業がよいと思いますか (2つ選択)

1	安定している会社	39.6%
2	自分のやりたい仕事(職種)ができる会社	35.7%
3	給料の良い会社	19.0%
4	これから伸びそうな会社	13.0%
5	勤務制度、住宅など福利厚生の良い会社	12.8%
6	休日、休暇の多い会社	12.2%
7	働きがいのある会社	11.6%
8	社風が良い会社	10.7%
9	自分の能力・専門を活かせる会社	6.0%
10	転勤のない会社	4.7%
11	一生続けられる会社	4.4%
12	親しみのある会社	3.7%
13	海外で活躍できそうな会社	3.1%
14	有名な会社	3.0%
15	いろいろな職種を経験できる会社	2.8%
16	志望業種の会社	2.5%
17	研修制度のしっかりしている会社	2.1%
18	若手が活躍できる会社	1.9%
19	大学・男女差別のない会社	1.7%
20	事業を多角化している会社	0.9%

③ 現時点で地元(Uターン含む)就職を希望しますか。(1つ選択)

	地元進学		地元外進学	
	男子	女子	男子	女子
希望する	38.9%	48.7%	25.1%	28.9%
どちらかという希望する	25.7%	22.8%	26.3%	23.8%
どちらかという希望しない	17.8%	13.5%	23.4%	21.7%
全く希望しない	17.7%	15.0%	25.3%	25.7%

④【③で「希望しない」を選んだ回答者対象】実現すれば地元就職するかもしれない要素(複数可) ※上位6項目抜粋

1	働きたいと思うような企業が多くできる	43.9%
2	給料がよい就職先が多くできる	39.6%
3	志望する企業の支社や研究所ができる	26.6%
4	志望する職種に就けるようになる	24.8%
5	地元の経済が活性化する	21.8%
6	地元で結婚したいと思う相手ができる	20.2%

7. 北九州市「高校生、大学生等の地元就職に関する意識調査(2014年実施)」報告書で記された、地域に求められる今後の方向性(一部抜粋)

- 北九州市内に大手企業の誘致を積極的に進める等、新たな雇用の場を創出することが望まれている。
- 雇用の受け皿を増加させるだけでなく、学生と企業とのマッチング支援が重要視されている。
- 優良な地元企業があっても学生や保護者などに知られていないケースが多い。地元企業と学生との接点として、地元企業の事業内容や製品等を知ることができるイベントが望まれている。また、インターンシップや、就業体験をはじめとした学生と企業との接点の機会を創出することが必要とされている。

8. 居住する地域を選ぶ上で重視する条件【全国調査】

出典)内閣府「国土形成計画の推進に関する世論調査」2015年8月実施、『表7 居住する地域を選ぶ上で重視する条件(複数回答可)』

	治安が良いところ	病院や診療所、介護施設など医療・介護の環境が整っているところ	商店街や大型スーパーなどの商業施設があり、買い物しやすいところ	地震、風水害、土砂災害などの災害の危険性が低いところ	気候や自然環境に恵まれているところ	物価や家賃などの生計費が安いところ	学校などの教育環境が整っているところ	公園や公民館などが整備され、地域における人の交流が盛んなところ	働く場所が多く、賃金水準が高いところ	保育園、幼稚園、児童館などの子育て施設が整っているところ	家族(子ども、親、祖父母など)や親戚がいるところ	スポーツや文化など趣味を楽しむための環境が整っていること	祭りなどの地域活動が活発なところ	その他、わからない
総数	66.6%	65.1%	61.8%	49.1%	42.3%	41.2%	31.1%	26.9%	26.8%	26.5%	26.2%	22.0%	12.2%	2.4%
20～29歳	64.9%	46.3%	66.4%	43.3%	34.3%	41.8%	41.0%	23.9%	38.1%	34.3%	25.4%	20.1%	17.2%	0.7%
30～39歳	71.7%	54.3%	63.9%	47.0%	38.4%	42.0%	52.1%	25.6%	35.2%	53.4%	35.2%	16.4%	14.2%	0.5%
40～49歳	74.7%	65.3%	63.7%	51.7%	39.3%	48.0%	48.0%	24.0%	37.3%	33.3%	30.3%	21.0%	13.7%	0.6%
50～59歳	75.3%	76.0%	64.1%	56.3%	48.4%	47.0%	27.3%	32.2%	39.8%	21.7%	24.3%	26.0%	10.5%	1.6%
60～69歳	65.0%	69.8%	58.5%	50.0%	42.8%	40.5%	22.5%	28.8%	18.3%	18.0%	21.0%	24.0%	9.8%	2.3%
70歳以上	53.4%	64.3%	59.1%	43.9%	44.1%	31.7%	15.0%	24.9%	9.2%	16.0%	25.2%	21.2%	12.2%	6.0%

カフェトーク in 北九州 意見シートによる意見(事前受理分)

別紙2

	若者の市内での就労と定着についての意見	市政に関する意見・要望
1	<p>・地元企業に就職を希望する学生を対象にした奨学金制度は良いとしても、職業選択を広くする。起業講座も開催する。</p> <p>・市営バスまたは西鉄観光バスが定期的に独身男女の「お見合い」バスツアーを企画する。北九州市に移住を希望する独身男女も参加可能にすれば人口増加の可能性もあるのでは。(「守る人」「守りたい人」が北九州市に存在すればいいのでしょう。)</p>	<p>・SDGs17の目標に、北九州市は18番目の目標として、「Art」を追加予定とのこと。アートには国境がないので「平和」につながると思います。</p> <p>・JR「門司港駅」と「関門海峡ミュージアム」がリニューアルオープンして、「日本遺産」認定の建造物を活用した観光地としても注目されています。観光と文化(アート)がつながるようにアート発信を！</p> <p>・「門司港美術工芸研究所」が「MOJIKOアート化計画」を開催していますが、門司港駅横の(旧)JR九州本社ビル2階にある「KUSTAJIO」と連携すれば、門司港から世界へ「アート」発信の可能性大と思います。「KUSTAJIO」を子どもの本の活動の場所としても活用を期待します。</p>
2	<p>・官製貧困(ワーキングプア)の解消が本市の課題である。非正規で一年契約社員なら希望もせず、辞めて市外へ出るのは当然である。具体的には、(株)日本施設協会は、市立図書館等を受託しているが、そこにいた若者は市外へ流出した。某図書館長は、「契約社員のことは言われん」と本音をポロリ。怒りを禁じえない。このような、若者を安く使い捨てる会社が指定管理者になっていることは損失であるが、これはかつて議員が容認した結果である。正社員登用も昇給もない。まともでない会社は、指定管理から退場させるべきである。14年が経過し、「利権化」している。従って、パネリスト参加の議員に対し、「図書館職員の契約社員」についての是非を聞いてください。他にも、会計年度任用職員を含めた非正規職員全体の待遇を底上げし、市の足元から検証すべきである。商工会議所・中小企業経営者協会でも、「若者を安く買いたたく自治体は潰れる」という意識を共有して検証を促して欲しい。</p>	<p>○市民の市政参加について</p> <p>・ブラックボックスの中で公金が流れ、市民が意見を出すことができない不透明な仕組みが出来上がっていることが、市政への無関心を助長させている。若者・現役世代は余裕がないので、各審議会の公募委員になることは事実上不可能である。年齢を限定して委員を募集し、夜間・休日開催にするなど、若者参加を可能とする改革が必要。</p> <p>○地方議会選挙投票率アップについて</p> <p>・選挙公報に、プロフィールとして職歴の記載を義務付ける。何をやってきた人か、関係団体の関係者しか知らないのでは、団体と無縁の人は当然、無関心になる。(学歴は任とする。)実際、市議会図書室も県議会図書室も、議員の職歴が分かる資料はない。さらに選挙公報を文書館で保管する。</p>
3		<p>・この厳しい世情の中、議員定数削減や議員報酬削減が自らの課題として話題にならないのか。市民の為自ら手本を示すべき。</p> <p>・議員の各視察後の効果を市政だよりに報告してほしい。(視察報告ではない。)効果が市政に反映されない視察は止めるべき。</p>

カフェトーク in 北九州 意見シートによる意見(当日回収分)

	若者の市内での就労と定着についての意見	市政に関する意見・要望
1	若者の優遇制度。高齢者が使っているお金を若者へまわしてください。子育ては医療・教育・交通を一切無料に。	とにかく高齢者のお金を若者のために。医療費の負担を高齢者にしてもらおうこと。
2	ワクワクする仕事がある。人がやりがいのある仕事がある。大学時代に働くことに意欲をもてる経験をどんどんしてほしい。(高校や中学、小学生時代でもやってほしい。地域創生の学生さんのように。)昨日、九州国際大学の方々が黒崎駅でのイベント活動をされていてよかったと思う。	人口増加、魅力ある街づくり。住みやすい街づくり。子どもの人口を増やす。養護施設の子どもさん達のケアをあつく。未来の子ども達に希望を与えてほしい。眠っている才能があると思う。本日も発表会で頑張っているのを見ていたらそのように思った。環境1番の街。世界1位に。
3	北九州市の強みを伸ばすこと。長い目で見て教育を充実させること。	—
4	—	政府と地方自治体は対等、という建て前にはなっているが、実際は政府の力が絶大で、日本の場合は、中央集権的傾向が大変強い。従って自治体は絶えず、どんな施策を具体的に当たっても、周辺自治体の動向を伺う。横並び的発想で行動している。そこに自治体が住民の創意、総意、に基づいて独自の創造的な施策を打ち出しにくい土俵がある。我々もその傾向を利用して、他自治体に対して北九州市が施策上遅れている場合は、先進例を示して「北九州市もやるべき」という場合が多い。しかし、本来の地方自治の主旨とを考えると、そうではなくもっと独創性をもって「北九州市は北九州市の道を行く」という立場で施策具体化に当たるべきではないか。アメリカはかなり制度が違うので一律に比較はできないが、州や単位自治体ごとに15ドル/hの最低賃金を決めたり、教員の給与を大きく引き上げたり、気候変動対策の目標を大胆に設定している。それが国の施策を引っばる役割を果たしている。そういう方向に国と地方の関係を変えていく努力が求められると思う。そうでなければ、本日のようなテーマ設定も議論が狭くなる。そういう限界をもっていると思う。
5	中小企業では人手が足りていない企業がたくさんあります。しかし、1人を雇用する余裕もなく、ギリギリの状態です。仕事まわす職場が多いです。それでは就活する側も選択肢が少なく、県外まで目が向いてしまいます。大多数の中小企業が少し余裕が出るように、もっと補助金や税制の優遇等があれば良いと思います。	「北九州市はいいところ」というのは分かるんですが、全体的にフワッとして具体的な話が少なくて、他市、全国との比較データがほぼ無いので、現状が見えません。
6	病院勤務をしておりますが、まだまだ有給のとり方が難しいようです。また、就労につく若者の定着率もなかなか困難なようです。有給を年間とらなないといけなような取り組みが出来ましたが、個人病院では理由等を聞かれたりする事があります。若い方が働きやすい職場を作るために、経営者の代表の方を集めた会合などで、働き方改革の話し合いもしていただけたらと思います。	最近、AI化が進んだりしたのが原因なのかわかりませんが、親が、特に母親が子どもとお話しする時間が少ないように思います。すぐ子どもが泣くとiPadで動画を見せている方がたくさんみられます。市政の方々もいろいろと活動されているのは十分承知しておりますが、子どもにもう少し目を向けて、スマホに目を向けるのではなく、もう少し自分の子どもとお話しする時間などを作っていただくような働きかけをお願いしたいと思います。
7	IR事業をどう考えていますか。私はいいと思います。手を挙げるだけで中小の会社や商店街の活性化になります。	頑張るしかない。

	若者の市内での就労と定着についての意見	市政に関する意見・要望
8	中小企業の魅力をもっとアピールする必要があると思う。若い方は一度は地元を離れたと思う人も多いと思いますが、家庭を持つなら、子どもを育てるなら北九州市に帰りたくる人のために就職は大事だと思います。	—
9	自己責任、努力が足りない、などという考え方が隔々まで行き渡り、職場で若者たちが心を病み、体を壊している様を随分見てきました。ここ10年で30人以上、20代～40代にかけて見てきました。職場でパワハラやいじめをなくすため、職場で補い合う、支え合う、分かち合う必要があると思います。	市議会の質疑時間が時間ありきで進行し、質問と答弁がかみ合わなかったり、きちっと議論がされず、時間をとっていく価値があるのか、疑問に思っています。普通の市民は今ままで足が向かないのではないかと。
10	北九州市から世界へグローバルリーダー育成。高校、中学で指定校を決め、世界へ戦える人材を育てる。	—
11	市民であるパネリストでさえ感じている暴力の街という負のイメージ。	今回は特に、市の雇用政策担当も一緒に登壇してもらってもよかったと思う。市役所は市内で一番多くの雇用者を抱える一企業である。行政と議会の一体感もアピールしないといけないと思う。
12	安定を求める若い人が多いとのことであるが、それならば、市役所はじめ市内公共団体の採用数を増やすべきと考えるがどうだろうか。	—
13	北九州市はどこに行ってもアクセスは悪いです。居住したい街、商業施設、買い物が便利ということは、施設があるというだけでなく、バスなどの交通網が便利な街でないといけない。西鉄バスに頼らず、京都のように市営バスで交通網を充実させるべき。若松区だけの市営バスはもったいない。遠賀地区とも手をとり合い、市(公)営バスを充実してほしい。鹿児島本線とバスのつなぎを是非。五市合併の良さを再検索して住み分けできる街としても。	”中高年の住みよい街”アピールは若い世代の人にはまったく魅力がない。むしろ、若い人が高齢者を支える街の未来をアピールしているだけ。東京へのアピール(北九フェス)などにお金をかけるより別の費用を使ってほしい。東京で”北九州市”といったらどこですか？と言われる。費用対効果の検証が必要では。
14	議事課宛、事前にFAXして伝えています。	市議会の常任委員会を傍聴したことがあるが、議員の発言内容が(思いつきで)つまらない。全く発言しない議員、内容のない発言をする議員もあり、88万円も、もらうのは？と思う。質問と答弁ではなく、本来、議員同士で論議する場ではないのか。説明者席の市職員が多すぎるのではないかと。傍聴する人には何の資料もないのでチンプンカンプンの場合もある。※傍聴者用の(回覧)資料を1部用意し、退席時に返却するようにしてほしい。
15	様々なマイナスイメージが払拭されれば、ふとしたはずみで好転するのではないかと思う。	—
16	昔みたいな日本人の心が欠けているように思われます。	市政と各企業がコミュニケーションをとり、若者の気持ちに対する話し合いが必要だと思います。今のところ若者の数が少なくサークル等が出来ない状態です。
17	地域の集まりに来る人々はほとんど同じ人たちです。なぜ多くの方が参加しにくいのか？考えていく方法があるのでは。	「老人会にお誘いを…」という声があるが、現在、情報の管理ということで、住所一覧などがわかりません。お誘いしようにも、どこにどんな人が居られるのかもわかりません。

	若者の市内での就労と定着についての意見	市政に関する意見・要望
18	—	国旗、市旗をなぜ掲げないのか？ 国内、海外視察後、視察報告（誰でも出来る）でなく、任期内の成果報告を提出してほしい（成果の出ない人は次回には選挙に出れないとか）。 議員の構成を知りたい。区ごと、会派ごと。 議員定数（他政令都市との人口比率）の適正化について議論してほしい。
19	カフェトークを聞いていて…北九州市は”住みやすい”という言葉に安堵している感がある。 子育て世代の世帯には（子育てしていなくても）ゴミ袋無料化とか医療費（中学生まで）無料化とか、家賃や家屋取得の補助とか、とにかく目に見える、若い人が魅力的に思う施策が必要では。”住みやすい”の言語化が必要！なんとなくじゃ定着する理由にならない。みんなで北九州市いいね。と言い合っているだけ。月給25万円！！いいね。	—
20	市民レベルの「おもてなし」「おせっかい」意識は旺盛であると思う。やはり、実際に住んでもらって、市の住み心地の良さを実感してもらうことが大切である。したがって、学生の期間に一定期間おためし居住等を実施すべきだと思う。	明石市のような抜本的な改革（子育ての重点化）。 東九州新幹線整備を見据えた自治体間連携。 地元生産物の更なる振興、農地の基盤整備。 若者を意識したカルチャーの発信。
21	今後、日本製鉄小倉がなくなった後の土地を有効に使って、若者が就労できる企業をよんでほしい。土壌汚染等の問題はありますが。	海外視察も市民に説明ができるならどんどん行くべき。アメリカのデトロイト等。
22	南先生のお話では、学生のある程度の数は地元就職を希望しているとのことだが現実としては地元就職に至っていない。 地元企業の皆さんは、地元の若者を採用することに積極的なのか。そうでなければ何か問題があるのか。（意見ではありません。） 2040年には、人口構成は高齢者の増加から現役世代の減少に大きくシフトすることが予想されているが、現行のさまざまな官民のサービスの質と量を維持していくためにはICTやIoTの活用のほか、何かニーズの低いものは廃止する決断も必要と思うが、皆さんはどうお考えか。	—
23	若者にとって「楽しい街」でなければ定着しないと思います。コンサートやイベント等どんどん開催してください。	「物価が安い＝給料が安い」街なので、個人所得が上がる政策を打ってください。
24	北九州市に住むにあたっての魅力は伝わってくるが、その住むための労働に関しては、就活の合説などが北九州市開催のものが少ないイメージなので、北九州市の企業を知る機会がもっとほしい。	発信の仕方がローカルな感じ。もっとSNSなどを活用して場所、食事などを発信すればいいのにとっています。

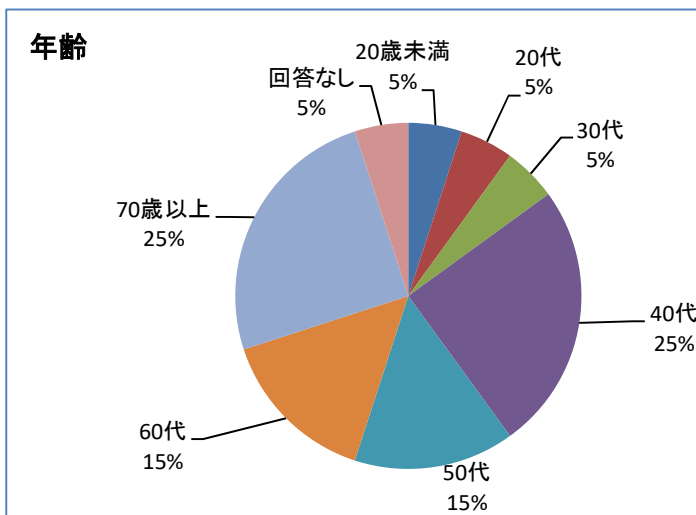
カフェトーク in 北九州 参加者アンケート集計

回答者：20

(令和元年11月10日(日) JR小倉駅JAM広場 13:30~15:50)

年齢

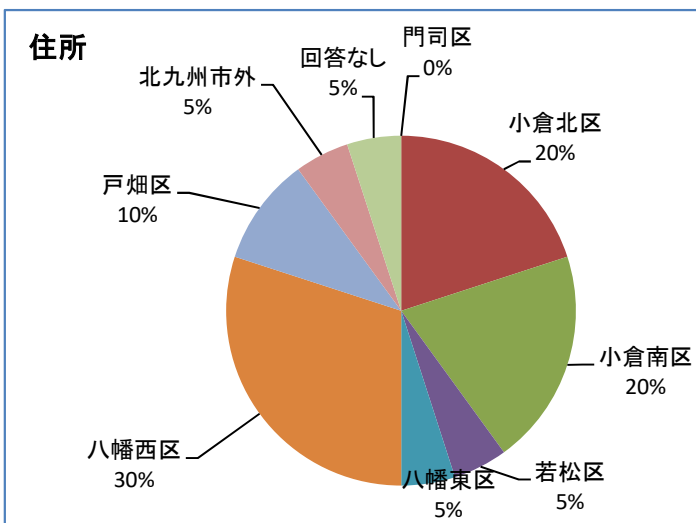
20歳未満	1
20代	1
30代	1
40代	5
50代	3
60代	3
70歳以上	5
回答なし	1
総計	20



住所

門司区	0
小倉北区	4
小倉南区	4
若松区	1
八幡東区	1
八幡西区	6
戸畑区	2
北九州市外	1
回答なし	1
総計	20

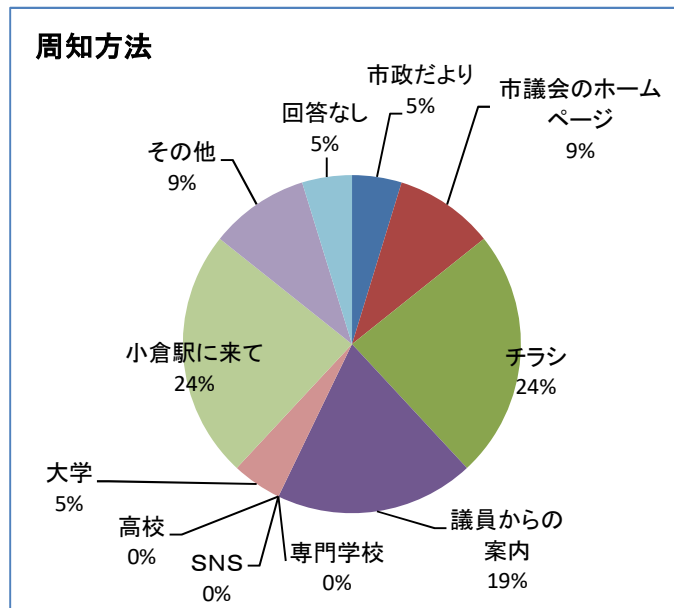
市外・・・宗像市（1）



このイベントを何で知りましたか？（複数回答あり）

市政だより	1
市議会のホームページ	2
チラシ	5
議員からの案内	4
SNS	0
高校	0
専門学校	0
大学	1
小倉駅に来て	5
その他	2
回答なし	1
総計	21

その他・・・人から聞いて（1）
市議会事務局から（1）

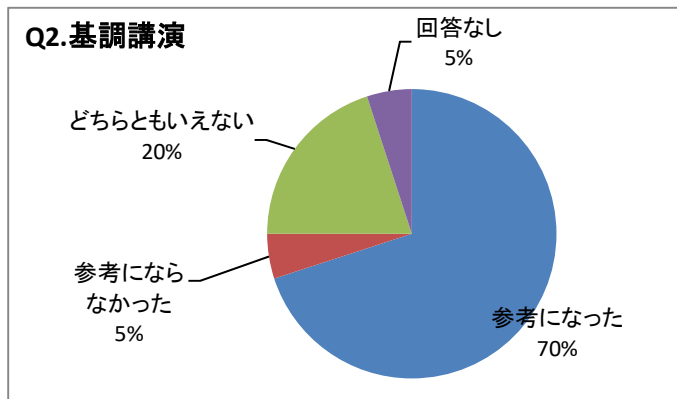


Q1.開催場所はどうでしたか？

回答	主な理由
良かった (12人)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅という場所はテーマ的に近いものがあると思う。 ・ちょっと寒い！！
悪かった (0人)	
どちらとも いえない (8人)	<ul style="list-style-type: none"> ・参加しやすい場所でしたが、ざわついて集中できにくかった。 ・天候状況にもよるが少し寒いと思う。 ・タイミングが丁度合ったが周囲がうるさい！！ ・大型ビジョンがあり、まわりが何をしているか理解しやすかったと思いますが、風が抜けて寒かった。（ざわざわし過ぎているかな？） ・少し寒かった。 ・寒かった。
回答なし (0人)	

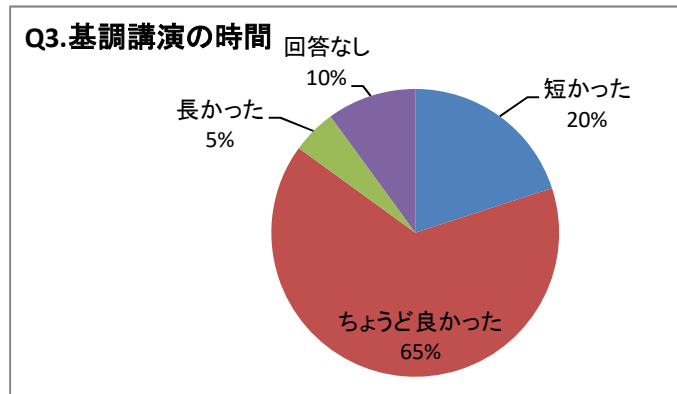
Q2.基調講演は参考になりましたか？

参考になった	14
参考にならなかった	1
どちらともいえない	4
回答なし	1
総計	20



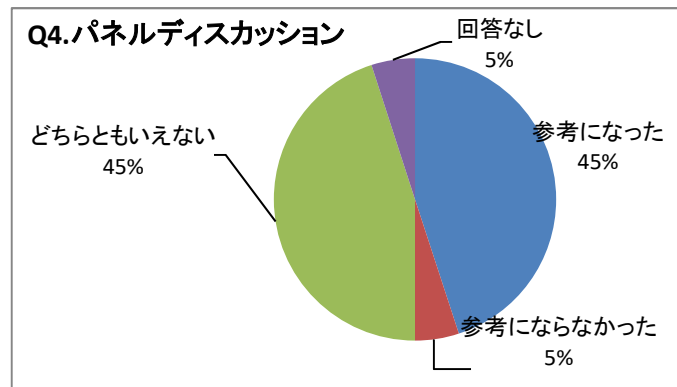
Q3.基調講演の時間はどうでしたか？

短かった	4
ちょうど良かった	13
長かった	1
回答なし	2
総計	20



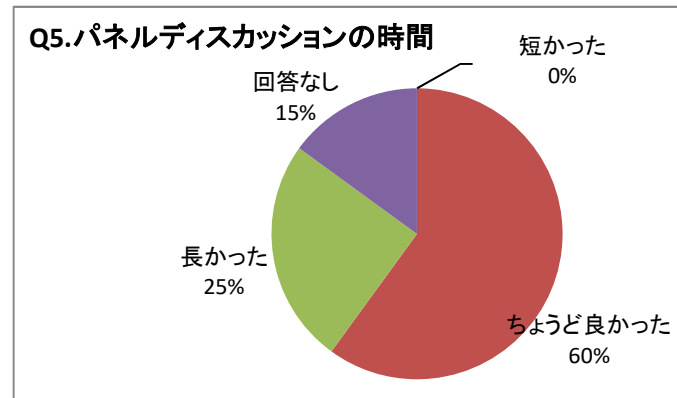
Q4.パネルディスカッションは参考になりましたか？

参考になった	9
参考にならなかった	1
どちらともいえない	9
回答なし	1
総計	20



Q5.パネルディスカッションの時間はどうでしたか？

短かった	0
ちょうど良かった	12
長かった	5
回答なし	3
総計	20



Q6.北九州市にとって一番の課題は何と思われますか？

◆人口問題	
北九州市のメリットの部分が強調されましたが、住みやすい街ならなぜ若者が増えないのか、なぜ人口が減少し続けるのか、突っこんだ議論が必要。	60代
人口減少	20歳未満
人口減	60代
◆少子高齢化	
高齢化をメリットに転換すること。	40代
少子高齢化	60代
少子高齢化は日本全体の問題ですので、若い世代をとり合うのではなく、子どもを産みたい、育てやすい北九州市を目指して欲しいです。イベントで人を呼ぶのではなく、定住したい市にする事を考えて欲しいです。	40代
◆産業・雇用	
中小の事業が発展してない。	60代
企業の誘致。福岡市のようにLINE等を使った取り組みをするべき。	40代
産業。商店などの閉店の多さが見られます。個人で商売するには厳しいと思われます。市の運営においてもう少し個人商店（昔ながらの）事業主に優しい街にしてほしいと思います。	50代
◆魅力発信	
発信力	20代
住み心地をしっかりとPRすること。	40代
暴力団の街、年寄りの街などのイメージで市民や若者が勝手に悪い街ととらえてしまっていること。（認知とイメージはかけ離れることも多い）	50代
マイナスイメージの払拭。	50代
北九州市の良点の発信。	20歳未満
◆その他	
福岡市と比べて、人口に対し議員定数が多いのでは。議員と同世代の若者、成年の比較をしてほしい。	70歳以上
全てが中途半端に感じる。特性・特徴をもっと見極めるべき。	30代
協働（協同）社会のモデル都市として、対話のある都市づくり。ハードがダメならソフトで。面白い取り組みを考えていきたいなー。	回答なし
交通。バスを小さくして便を多くすることは出来ませんか！	70歳以上
市政改革	70歳以上
ごく一部の人にしか関係ない事にお金をつぎこむ事。 イベントや大型施設など。もっと日々密接した事にお金を使ってほしい。	40代
議員のレベルの低さ。企業は生き残りに大変だよ！行政の方をオープンに！	70歳以上

Q7.「カフェトーク in 北九州 ～議員とまちを語ろう～」へのご意見・ご感想

もっとざっくばらんな議論を！！	40代
<p>4人のパネラーの回答が的外れが多い気がした。 一般参加5～60人関心がないのか。（95万市民にしては少なすぎる） 区ごとの開催は無理か。 現状を話しても仕方ないのでは。 今日のテーマ、“若者の就労と定着”市外から呼び込む話があまり出なかったのでは。 議員は選挙の時、“市民のため、皆様の声を吸い上げる…”という割には今日の参加者は 極少。なぜ支援に呼びかけないか。これほど乖離の解説が必要では。 若い人の参加が少ないのでは。 抽象論が多かった。もっと若者を惹きつける具体策を論ずるべき。 例) 戸町議員—北九州市に来れば楽しい夢がある。金持ちになれる。 → どうしたらなれるのか具体案の提示を。</p>	70歳以上
<p>なんだかせっかくのカフェトークなのに…あんまり面白くなかった。 一方向的な発信に終わったように思う…ザンネン…</p>	回答なし
<p>関係ない事かもしれませんが、子どもが教員をしています。市の採用があったのですが、勤務地も、現在50分かかるそうです。交通と時間を踏まえて、もう少し効率の良い職場想定はできないのでしょうか。何を基準として転勤を決めているのでしょうか？</p>	70歳以上
<p>顔を見ながら質問をしていたのが、横で大変そうだったのでテーブルが「ハ」の字が良かったのかなと思いました。皆さん声の通りが良くて聞き取りやすかったです。</p>	40代
<p>時間的にムリがあると思いますが、もう少し具体的に例を出したりして話をした後に、今後の課題を話し合うようなスタイルがよかったです。 藤元議員がよかったです。江藤さんも働き方の地方と北九州市の違いを話した所がよい。</p>	50代
<p>議会改革（行政改革） 財政改革</p>	70歳以上
<p>イスが少ない。</p>	40代
<p>議員に聞きたい！あなた達は何をするために議員になったのか？議員の出席が少ないのでは。</p>	70歳以上

第2回カフェトーク in 北九州に関する活動結果について

1 運営会議の開催状況

	日 時	議 題
第1回	5月31日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議委員について ・昨年の実施結果について ・運営会議における検討事項について ・今後のスケジュールについて
第2回	6月26日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議における検討事項の取りまとめ ・今後のスケジュールについて
第3回	7月29日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・協働団体の取り扱いについて ・実施要領(案)について ・会場について
第4回	8月27日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・パネリスト(議員側)について ・JAMビジョンの活用について ・広報計画について ・その他検討事項
第5回	9月26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議委員の変更について ・パネリスト(企業側)について ・パネルディスカッションについて ・チラシ(案)について ・参加者アンケートについて ・広報計画について
第6回	12月11日(水) (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回カフェトーク in 北九州の実施結果 ・令和2年度「カフェトーク in 北九州」の実施に向けた検討項目

○運営会議委員

座長 自由民主党 佐藤 栄 作 議員
 公明党 村上 直 樹 議員
 ハートフル北九州 奥村 直 樹 議員
 自民の会 戸町 武 弘 議員(第1回～第4回会議 西田 一 議員)
 日本共産党 藤元 聡 美 議員

2 広報活動について

- (1) 市政だより(令和元年11月1日号)への記事掲載
- (2) 市及び市議会ホームページでの広報
- (3) マスメディアを利用した広報
 - ・ J : COM「地域情報番組デイリーニュース」(11月11日17:00~放送)
佐藤栄作座長への実施後のインタビュー
- (4) 広報チラシの配布、配置(計5,000部)
 - ・ 議員による配布【1,000部】
 - ・ 区役所、出張所、広聴課への配置【510部=17ヵ所×30部】
 - ・ 市民(サブ)センターへの配置【1,360部=136施設×10部】
 - ・ 生涯学習(総合)センターへの配置【270部=9施設×30部】
 - ・ 市内10大学及び近隣6大学への配置【480部=16大学×30部】
 - ・ 市内高校、各種学校への配置【600部=60校×10部】
 - ・ 小倉北区自治総連合会への配布【25校区】
 - ・ 会場への配置など
- (5) ポスター掲示(B2版)
 - ・ モノレール駅(13駅)への掲示(10/31~11/11)、チラシ配架(14箇所)
- (6) 報道機関への資料提供
- (7) 公式SNS「好きっちゃ北九州」掲載
- (8) サンデー北九州「北九州市 info」掲載
- (9) インフォメーション掲載(市職員向け、北九州市立大学の学生・教職員向け)
- (10) 商工会議所メールマガジン(11月1日号)掲載

3. 開催当日の様子



会場（ステージ、音響）



会場（要約筆記）



事前打ち合せ（パネリスト）



挨拶：村上 幸一 議長



基調講演：南 博 教授



司会：村上 さとこ 議員





パネリスト（地元企業）



パネリスト（市議会議員）



会場との意見交換



会場風景



第2回 カフェトークin 北九州

開催日程 令和元年 11月10日(日)
(13:30~15:50)

会場 小倉駅JAM広場

議員とまちを語ろう



市民に市議会をもっと身近に感じてもらうことを目的に、本市の課題の一つである「若者の市内での就労と定着について」をテーマにした基調講演、パネルディスカッション、参加者との意見交換を行います。

テーマ

若者の市内での就労と定着について

スケジュール

- 挨拶 (13:30) 北九州市議会 議長 村上 幸一
- 基調講演 (13:40) ●演題 「若者の北九州市への定着促進に向けて」
北九州市立大学地域戦略研究所 教授 南 博氏
- パネルディスカッション (14:00~15:50)

《北九州市議会議員》

三原 朝利 (若松区)
村上 直樹 (八幡西区)
三宅まゆみ (若松区)
戸町 武弘 (八幡東区)
藤元 聡美 (八幡東区)

《地元企業》

権頭喜美恵様 (社会福祉法人もやい聖友会 理事長)
山下 省司様 (株式会社ドーワテクノス 管理部長)
志賀 亮介様 (株式会社不動産中央情報センター)
江藤 朋美様 (株式会社井筒屋)

●コーディネーター

南 博氏 北九州市立大学地域戦略研究所 教授

あなたの声をお聞かせください。
(裏面をご覧ください)

参加無料



【主催】北九州市議会

お問い合わせ 北九州市議会事務局 議事課 北九州市小倉北区内1番1号
TEL(093)582-2628 FAX(093)582-2685

カフェトークとは
飲み物を飲みながら気軽に参加してもらえるような雰囲気です。
合意を行おうと名付けたものです。(飲み物の提供はありません。)

カフェトーク in 北九州 ～議員とまちを語ろう～

ご意見シート

カフェトーク in 北九州では、「若者の市内での就労と定着について」をテーマに、パネリストが議論を行います。皆さまからいただいたご意見も参考にしながら議論を進めていきたいと考えておりますので、ぜひご意見をお寄せください。

- 北九州市で若者が就労し働き続けるために、どのような対策が必要だと思いますか。あなたのご意見をお聞かせください。

- 今回のテーマに関わらず、市政に関する意見・要望があればご記入ください。

※ご意見シートは随時回収いたしますので、スタッフにお渡しください。

本日のご参加、ありがとうございました。

カフェトーク in 北九州 参加者アンケート

該当する項目の□にチェックをご記入ください。

年齢	<input type="checkbox"/> 20歳未満 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70歳以上
住所	<input type="checkbox"/> 門司区 <input type="checkbox"/> 小倉北区 <input type="checkbox"/> 小倉南区 <input type="checkbox"/> 若松区 <input type="checkbox"/> 八幡東区 <input type="checkbox"/> 八幡西区 <input type="checkbox"/> 戸畑区 <input type="checkbox"/> 北九州市外()
このイベントをなにで知りましたか？	<input type="checkbox"/> 市政だより <input type="checkbox"/> 市議会のホームページ <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> 議員からの案内 <input type="checkbox"/> SNS <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 小倉駅に来て <input type="checkbox"/> その他()

Q1 開催場所はどうでしたか？

良かった 悪かった どちらともいえない

その理由()

Q2 基調講演は参考になりましたか？

参考になった 参考にならなかった どちらともいえない

Q3 基調講演の時間はどうでしたか？

短かった ちょうど良かった 長かった

Q4 パネルディスカッションは参考になりましたか？

参考になった 参考にならなかった どちらともいえない

Q5 パネルディスカッションの時間はどうでしたか？

短かった ちょうど良かった 長かった

Q6 北九州市にとって一番の課題は何と思われますか？

()

Q7 「カフェトーク in 北九州 ～議員とまちを語ろう～」へのご意見・感想がありましたらご記入ください。

会場のスタッフにお渡しください。ご協力ありがとうございました。